

令和元年第4回燕市議会定例会
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一括質問	一問一答
12月10日(火)	午前	1	長井由喜雄	議員		○
	午後	2	大原伊一	議員		○
		3	山崎雅男	議員		○
		4	齋藤信行	議員	○	
11日(水)	午前	5	樋浦恵美	議員		○
		6	埴 豊	議員		○
	午後	7	土田昇	議員		○
		8	堀勝重	議員		○
		9	小林由明	議員		○
12日(木)	午前	10	渡邊広宣	議員		○
		11	柳川隆	議員		○
	午後	12	岡山秀義	議員		○
		13	タナカ・キン	議員		○
		14	宮路敏裕	議員		○
13日(金)	午前	15	大岩勉	議員		○
		16	中山眞二	議員		○

令和元年第4回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	長井由喜雄(一問一答方式)	1. 風水害を始めとした防災・減災対策について	(1) 台風19号の影響と今後懸念される問題について	① 燕市における被害及び対応について伺う。 ② 県内被害の状況と要因についてはどう認識されているか。 ③ 市の洪水・土砂災害ハザードマップについての検証と、市民生活への浸透活用など、今後進めるべき課題などについて伺う。 ④ 千曲川・信濃川に流れた総水量と大河津分水路の現状、及び市内を流れる信濃川、中ノ口川、西川などへの影響について伺う。 ⑤ 今回、大河津分水路河口付近などでの「見物人」により道路の渋滞などが起きたと聞く。危険箇所への規制など、今後の対応について伺う。 ⑥ 避難所開設に係る要員などは、現在の非正規職員、来春からの会計年度任用職員には求めないということか。
			(2) SNSの活用と防災行政無線の活用について	① 防災つばめ〜の登録活用状況はどうか。また、スマートフォンの普及により防災アプリの検討も必要ではないかと思うがいかがか。 ② 屋外拡声子局に赤色・緑色・黄色などの回転灯を設置し、情報の伝達に活用していくことを提案するがいかがか。
			(3) 地域の防災について	① 自治会を中心として自主防災組織の現状と組織化の課題について伺う。 ② 小池中学校が「ぼうさい甲子園」で奨励賞を受賞した。災害時において、中学生の活躍に期待する声は大きくなっている。自主防災組織、まちづくり協議会などとの他地域での連携の可能性について伺う。
		2. 会計年度任用職員制度について	(1) 会計年度任用職員制度の周知と課題について	① 会計年度任用職員制度について、非正規職員から不安の声が寄せられる。各職種への周知状況はどうなっているか。 ② 制度及び条件の変更などについては現在の非正規職員に十分な説明がされ、十分な理解のもとに来年度の雇用更新希望がされているのか。 ③ 来年度の会計年度任用職員採用に当たり、現状で必要とされる人員は確保される見通しか。
		3. 非核平和の取り組みの拡充について	(1) 広島への平和大使派遣の拡充について	① 総務文教常任委員会が行政視察で被爆地広島を訪れ、被爆体験講話をお聞きした。燕市が行う中学生を派遣する広島平和記念式典派遣事業について拡充を求めるがいかがか。
			(2) 「非核平和事業」の拡充について	① 今年の「原爆と人間展」では、高校生が描いた被爆絵画も新たに展示された。平和大使の報告会も約100名が参加し、関心の高さが伺えた。報告会やパネル展開催に合わせて被爆体験講話を組み入れるなど、燕市の非核平和事業の拡大を求めるがいかがか。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
2	大原伊一 (一問一答方式)	1. 燕市建物系公共施設保有量適正化計画のその後	(1) 前期計画の初年度であり検討の対象となる施設は、多岐にわたっている。現状の進捗状況を伺う	<p>① 公民館集会施設再編案では、燕地区の西燕公民館・松長公民館が対象となっているスポーツ施設では、小中川コミュニティセンター、市民プール、吉田プールであり、保健福祉施設では、福祉の家・第二福祉の家である。</p> <p>学校教育施設では、教育センター、児童福祉施設では、白山町児童館・小中川児童クラブ・さくらんぼハウス子育て支援センターであり、非常に多岐にわたっている。現在の検討内容と進捗状況についてお聞かせ願いたいと思います。</p> <p>② 幼稚園・保育園・こども園施設については、「適正配置の検討段階や時期の到来が想定される施設から順次検討を進めます」となっているが、国の無償化政策が始まり、財政にとって2億円とも3億円とも想定される財政負担増に対応する民営化方針を、いち早く市民に発表する必要性に迫られている。</p> <p>このような事態を踏まえ、当然、適正化計画の中の一環として検討されていると思うが、内容について伺いたいと思います。</p>
			(2) 中期計画について	<p>① 参考までに事例として伺いたいと思います。</p> <p>中期計画における藤の曲公民館は、保育園と一体施設であり、当然保育園も見直しの対象という認識で良いのか伺います。</p>
			(3) 後期計画について	<p>① これも御参考までに事例として伺いたいと思います。</p> <p>図書館についてであります。3施設を統合し全域的施設として中央図書館の建設、もしくは3地区で既存公民館との統合による多機能化複合化を検討します」とあります。</p> <p>現状の図書館運営を考えればネットで予約し、翌日には指定された公民館に配送できるのであるから、令和5年から令和14年の中期に中央図書館を建設し、各公民館閲覧室を設けるだけで十分対応可能であるとともに、燕市立図書館の借地問題もいち早く解消できると考えるが当局の考えを伺いたいと思います。</p>
		2. 消費税増税に伴うインボイス制度について	(1) 農業への影響について	<p>① 農協などへの出荷に際し影響はあるのか。加工米や飼料米など数量契約に基づく出荷に影響はあるのか伺います。</p> <p>② 農産物直売所やスーパー、学校給食などや課税業者などへの直接販売への影響があるのか伺います。</p> <p>③ 農家及び直売所等への指導について伺います。</p>
		3. 今年産農作物の作柄について	(1) 本市における農作物の作柄について	<p>① 令和元年は、全国的には台風など自然災害の多い年であったが、本市における農作物の作柄について伺います。</p>
			(2) 今年の稲作について	<p>① 今年産米の検査結果について伺います。</p> <p>② 高温障害に対する分析と次年度以降への対策並びに指導体制について伺います。</p> <p>③ 土地改良区に対して高温時は、夜間の断水を止め用水路に水を流せないのか確認する必要があると思うが市としての対応はあるのか伺います。</p>

発言 の 順序	発 言 す る 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
3	山崎 雅男 (一問一 答方式)	1. 台風・水 害等の自然 災害から身 の安全、生 活を守るた めについて	(1) 台風19号に よる信濃川水 系、信濃川大 河津分水路増 水からの教訓 について	<p>① 台風・水害等の自然災害に対する危機管理の現状認識と市民の生命を守るための対応について見解を伺う。</p> <p>② 台風19号による記録的な大雨は「数十年あるは百年に一度」の大雨と言われる台風で、大雨特別警報は過去最多の13都県に発令。大雨による河川の氾濫も相次ぎ、堤防決壊は千曲川など7県59河川90カ所となり、今も多くの住民が避難生活を強いられている。</p> <p>燕市も10月13日午前9時50分、分水地区避難勧告発令。市民への情報発信等の取り組みと自主防災組織や自治会等との連携、対応について伺う。</p> <p>③ 信濃川水系信濃川の大河津分水路の増水により、午前9時30分に氾濫危険水位レベル4の16.1m。午後3時10分に最高水位17.06m到達に伴う指定避難所の分水小学校・分水総合体育館・分水公民館・分水福祉会館・分水北小学校・国上勤労者体育センターと自主避難所の燕庁舎・吉田産業会館の8カ所の避難所を開設した。</p> <p>避難者の受け入れ対応と、高齢者、障がい児・者等、要配慮者の取り組み内容について伺う。</p> <p>④ 燕市内20小中学校で、地震等自然災害時の突発的な防災訓練を定期的に取り組んでいることと思うが、信濃川、大河津分水の越水、決壊時を想定した、特に分水地区4小中学校の水害に対する防災教育の取り組み状況について伺う。</p> <p>⑤ 市民一人ひとりが自然災害に対する「心構え」と「知識」を兼ね備え、いざというときには避難勧告等を待つことなく、状況情報を基に、自らが考え適切に行動できるような施策を強力に推進していくことが必要で、市民も防災、減災意識もより高まることと思うが見解を伺う。</p>
		2. 高温障害 等による農 業問題につ いて	(1) 令和元年新 潟県産コシヒ カリ1等米比 率について	<p>① 令和元年産9月末現在、検査実績主食用米都道府県別の1等米比率が全国平均67.6%、新潟県は33.1%。10月4日現在の燕市33.2%で県平均くらいであるが、市としての捉え方と、今後1等米比率を高めるために作柄、および品質低下抑制の作付け取り組みを農業者に対してどのように推進していくのか見解を伺う。</p> <p>② 品質、収量に最も大きな影響を及ぼすのは出穂期の高温による不稔。出穂期および出穂前の気温が高温になると、不稔稲の割合が増加することが示されている。地域の水利条件に応じた水温の上昇を抑える水管理に対して、市としてどのように認識しているのか。</p> <p>③ 新潟県産コシヒカリの1等米比率が、高温障害の影響でかつてないほど落ち込み、生産者の収入が大幅減少。県は経営等に関する相談窓口を設けたが、市としても現状認識してJA、農業関係団体等連携協議して、適切な対策を講じることはできないか所見を伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
4	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	1. 教職員が安心できる職場環境について	(1) 教職員の産前休暇や育児休業の状況について	<p>出生数が減少し、学校の児童生徒数が減っていく中であって、本年度は元号が「令和」に変わったこともあり、妊娠する教職員が増えているというおめでたい情報を耳にしました。しかし、それと同時に「代わりがないから休むのが申し訳ない」と言っている教職員がいるという。そこで、</p> <p>① 燕市内の小中学校で、産前休暇や育児休業を取得している人数、また、これから取得しようとしている人数を伺います。</p> <p>② 以前、産前休暇や育児休業を取得する教職員の代わりが配置できていない学校があると新聞で取り上げられていたが、燕市を含めた県内の状況について伺います。</p> <p>③ 担任している子どものことを心配せずに、教職員が安心して妊娠、出産できる学校にすることが大切と考えるが、それに対する教育委員会の見解と、今後、教職員が安心できる学校の職場環境づくりに向けての対応を伺います。</p>
			(2) 教職員の働き方改革について	<p>① 学校はブラック企業と言われ、先生は帰りが遅く、忙しさや心労で精神疾患になる先生が増えるなどしていることから、国や県が学校の働き方改革を進めていると聞いている。燕市は前より先生方が早く帰ることができるようになってきたのか伺います。</p> <p>② 教育委員会はこれまで働き方改革を進める上で、どのような取り組みを進めてきたのかを伺います。</p>
		2. 農商工の連携について	(1) 農林部と商工観光部の統合について	<p>① 農林部と商工観光部を統合させ、産業振興部ができて4年になる。農商工連携など、統合におけるこれまで取り組み等効果はあったのか伺います。</p> <p>② 農商工連携について、今後どのような方向性を持って取り組んでいくのか考えを伺います。</p> <p>③ 空き家、空き工場、空き倉庫、空き地(農地を含む)など、今後増えるであろうと思われるが、有効利用等今後の取り組みについて考えがあるのか伺います。(農林部と商工観光部の連携で良い案もできるのではないか)</p> <p>④ 今後の取り組みについては、現在の状況を踏まえ市長に伺います。(市の将来について)</p>
		3. 大河津分水路について	(1) 大河津分水路の増水について	<p>① 台風19号の雨による大河津分水路の増水は、過去最高の水位になりましたが、市民の反応について市の考えを伺います。</p> <p>② 今回は避難もありましたが、市民の反応や今後の課題などを伺います。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
5	樋浦 恵美 (一問一答方式)	1. 高齢者予防接種について	(1) 高齢者肺炎球菌ワクチンについて	<p>①肺炎は高齢になるほど重症化しやすく、人口の高齢化に伴い、死亡者数も増加しています。国の人口動態統計によると、日本人の死因の5位は肺炎で、死亡者の約98%が65歳以上の高齢者であるとしています。2014年10月から、65歳以上を対象に肺炎球菌ワクチンの定期接種が開始されましたが、2019年度現在の対象者数、接種者数、接種率について伺います。</p> <p>②厚生労働省は、肺炎予防に有効な肺炎球菌ワクチンの接種率を高めるため、本年3月末までの経過措置として70歳以上を対象に実施してきた公費助成を、2023年まで延長すると決めました。市としてどのように取り組んでいかれるのか伺います。</p> <p>③今年度新規の65歳の未接種者に対し、再通知を行う考えはあるのか伺います。</p>
		2. 食品ロスについて	(1) 食品ロス削減の取り組みについて	<p>①まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」を減らすための「食品ロス削減推進法」が本年5月に成立、10月に施行されました。政府が策定する基本方針を踏まえ、都道府県と自治体が推進計画を策定することになっていますが、推進計画策定の考えについて伺います。</p> <p>②10月を食品ロス削減月間とする規定に対し、市としてどのように取り組んでいかれるのか伺います。</p>
		3. 市民サービス向上について	(1) 「おくやみコーナー」の設置について	<p>①家族が亡くなった後の手続きは故人によって異なりますが、複雑でもあり遺族の大きな負担となっています。遺族の負担を考慮し、死亡に伴う手続きの利便性の向上のため、「おくやみコーナー」の設置を提案したいが、市の考えを伺います。</p>
6	埜 豊 (一問一答方式)	1. 高齢化社会への対応	(1) 中心市街地で急速に進む高齢化への対応	<p>①自治会長のなり手不足への対応と平均在職年数の実態。</p> <p>②今後ますます進む高齢社会で、いかに自治会を維持していくのか。</p> <p>③自治会長を中心としたコミュニティの維持と限界について。</p>
			(2) まちづくり協議会の実情について	<p>①まちづくり協議会の現状について。</p> <p>②まちづくり協議会と自治会の連携について。</p> <p>③特に市街地で求められる課題について。</p>
		2. 教育問題について	(1) 学力の向上について	<p>①NRTの結果の受け止めについて。</p> <p>②プログラミング教育の導入など、新しいシステムの評価と従来の手法との関係について。</p> <p>③これからの燕市の学力向上に向けての方向性について。</p>
			(2) いじめ問題について	<p>①先般報道された教師間のいじめ問題をどうとらえているのか。</p> <p>②ますます陰湿化するいじめに対する対応について。</p> <p>③学校と教育委員会の関係について。</p>

発言の順序	発 言 する 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
7	土田 昇 (一問一答方式)	1. 県央基幹病院の今後について	(1) 地域医療の充実へ	<p>① 県は「財政危機」を理由に、9月10日「新潟県行政改革行動計画(案)」を発表しました。その中では「社会保障や県立病院への繰出金」の負担増が「財政危機」の大きな要因だとしていますが、過去の県政運営において過大な公共事業で公債費の返済が大きくなってきていると同時に、国の地方交付税の大幅な削減が示されている(三位一体改革)にもかかわらず、従来と変わらない事業を計上し続けた結果が、今日の厳しい経済状況になってきていると思うが、市長はどのような見解か伺う。</p> <p>② 県の有識者会議が、県央基幹病院の整備見直しを提言するなど、県央地域に関しては大きな問題が起きてきました。そのような状況の中でも、11月8日の「新潟県地域医療構想調整会議」が開かれ、県央基幹病院については、救急患者の圏域外搬送が一段と増加していること、急性期医療の集約化が必要だとして、県央基幹病院の役割が明確になったと報道されました。さらに50歳代未満の医師の割合も他の圏域と比較しても大幅に少ない現状も指摘しています。その対応と今後の見通しについて伺います。</p> <p>③ 今後の取り組みとしては、機能、規模について議論を深めて、県央基幹病院整備基本計画に基づいたタイムスケジュールで整備を進めたいとしているが、早急に医師の確保と看護師の増員を県に強く求めていくべきと思うし、県央地域の市町村長が共同で行動すべきと考えるが今後の取り組みについて伺う。</p>
		2. 県立吉田病院の今後について	(1) 県立吉田病院の早期建て替えの実現へ	<p>① 厚生労働省は9月26日、病院の再編・統合の必要性があるとして、全国424の公立・公的病院を「再検証要請対象医療機関」として個別に名称を公表しました。その中に、県立吉田病院、厚生連三条総合病院と県立加茂病院が示されました。</p> <p>県として11月8日の会議で、圏域内の加茂、吉田の県立病院については、急性期医療を県央基幹病院に集約させる一方で、民間譲渡を検討すべきとの意見が出されました。これについて、反論は出なかったと新聞報道されたが、地域住民の方々は大きな不安と、今後の対応と取り組みに大きな心配をしているのが現状であります。市として今後どのように対応していくのか見解を伺います。</p> <p>② 新潟県が「財政危機」を理由に進めようとしている県立病院統廃合問題と、病床削減ありきの「地域医療構想」でなく、2017年3月31日に発表した「地域医療構想」に従って「2025年に向け患者の状態に応じた、質の高い医療を効率的に提供する体制を確保する」「病床数の削減を前提とするのではなく各地域の実情に沿った医療、介護サービスの提供体制の充実を図る」としている基本に立って行動と発言をしていくのが市民の立場に立った対応と思うが、その見解について伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
7	土田昇 (一問一答方式)	2. 県立吉田病院の今後について	(1) 県立吉田病院の早期建て替えの実現へ	③ 燕労災病院が県に移管され、県央基幹病院に合流すると認識しているが、以前に燕労災病院の跡地に医療法人が、回復期の新病院建設の予定と説明があったが、それ以後どのような状況になっているのか今後の対応も含めて伺います。
		3. 柏崎・刈羽原発の避難訓練について	(1) 市の対応と今後の課題について	① 11月8日、9日の二日間で柏崎・刈羽原発の7号機の原子炉が緊急停止したという前提のもとで、関係機関、参加団体55団体が参加して避難訓練が実施された。 燕市の大河津分水さくら公園で放射性物質の放出を想定したUPZのスクリーニングや簡易除染、安定ヨウ素剤の配布などの訓練が行われたが、燕市の参加者数はどのような状況だったのか。また、その感想等々について市としてどのように感じたか、今後の対応についても伺う。
		4. 水道の塔の今後について	(1) 安全対策は大丈夫か	① 水道の塔は合併後、市が2011年度に7,500万円もかけて改修を行ったが、2012年7月に早くも外壁が落下して補修等々を実施してきた。修理費や管理費はどのような状況になっているのか伺う。今後どのように対応していくのかも伺う。
8	堀勝重 (一問一答方式)	1. 第2次燕市総合計画について	(1) 人口減少から派生する本市の主要課題について	令和元年度は第2次燕市総合計画の見直しの年であります。 ①・「若者の定住・少子化対策」 ・「超高齢社会への対応」 ・「安全・安心な都市環境の整備」 これらの3つの項目において、策定時から現在までの実績と評価について伺います。 ② 見直しにあたって、評価後の変更や新たな対応策等について伺います。
			(2) 基本目標(重要指標)について	① 基本目標(重要指標)に掲げてある6項目について伺います。 (1) 目標人口 (2) 自然動態(出生数) (3) 社会動態(転入転出数) (4) 交流人口 (5) 住みやすさ (6) 居住意向 これらの項目についての策定時から現在までの実績と評価について伺います。 ② 見直しにあたって、現時点の評価後の変更や、新たな対応策等について伺います。
			(3) 計画策定の趣旨に基づいた行財政運営について	① 厳しい財政見通しを踏まえ、将来を見据えた対応が求められると策定趣旨に掲げてあります。 令和2年度当初予算編成にあたり、これらのことを考慮され予算編成がなされているものと受けとめておりますが、重点を置かれたことなどについて伺います。 ② 大きな課題として掲げられている、少子高齢化と人口減少を踏まえた、今後の行財政運営の方向性等や見直し点等について現時点の考えを伺います。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	小林由明 (一問一答方式)	1. 環境問題について	(1) 燕市産業に起因する環境問題について	<p>① 燕市は全国的にも、大気中のトリクロロエチレン濃度が高い状況にある地域の一つであることは、環境省や県の調査で知られているところである。</p> <p>これまでも議会において、トリクロロエチレンなどによる環境汚染に関する質問がなされており、また、最近ではヒ素が検出されたといった報道がなされているが、こうした問題を取り巻く状況と、市の考え方や取り組みを伺いたい。</p> <p>② 環境汚染への対応は広範に及ぶものであり、かつ、専門性などが要求されることから、県などの所掌事務となっているのが実際で、市の取り組みにも限界があることは理解している。</p> <p>一方、燕市はものづくりのまちであると同時に、産業に由来する環境汚染のリスクは常に存在しており、実害は発生していなくても、こうしたマイナスイメージの積み重ねは、住環境への不安や農産物汚染といった風評被害などを招く可能性もあり、市全体に与える影響は深刻なものと認識すべきである。</p> <p>ものづくりのまちを標榜する市として、産業由来の環境汚染や、それによって生じる住民不安、風評被害などに向き合う市行政の体制を構築し、適宜適切な情報発信や、自然環境への負荷低減に積極的に取り組む事業者の支援など、人と自然と産業が調和し進化を目指す燕市の姿勢を、より鮮明にしていくべきと考えるがいかがか。</p>
		2. 中高生の声もまちづくりに	(1) 自習室の設置について	<p>① かねてより、中高生やその保護者から、自習室開設を求める声が届いている。すでに、旧吉田庁舎や図書館などに自習室は開設されているが、利用できないことが多いうえ、環境がよりよいと感じられる三条市立図書館を利用する生徒も少なくないようである。</p> <p>市民の学習意欲に応えるべく、学習環境の向上を目指し自習室を増設していくべきと考えているがいかがか。</p> <p>② 生徒の多くは電車で学校に通っているが、特に冬季には、親御さんの迎えの待ち時間に利用できる駅付近の自習室は利便性も高い。</p> <p>また、こうしたいわゆる「エキチカマチナカ施設」は、若年層のマチナカ回帰にもつなげることも可能であると同時に、多くの方が集える拠点施設ともなりうる。</p> <p>エキチカマチナカにある旧燕市役所は、その活用によっては、現在盛り上がりを見せ始めている燕駅周辺を活性化する拠点施設となりうると考えており、その機能として、まずは、学ぶ市民を支援する自習室の開設を検討いただきたいがいかがか。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	渡邊 広宣 (一問一答方式)	1. 教育行政について	(1) 教育行政について	①本市児童・生徒の学力状況の認識と課題について。 ②児童・生徒の生活実態について。 ③教育立市宣言以降の市独自の教育施策とその成果と課題について。 ④独自施策の予算の推移と費用対効果について。 ⑤今後、必要とされる教育施策について。
		2. 産業政策について	(1) 産業政策について	①業種・業態別の生産(出荷)額のシェアの推移について。 ②市補助金・助成金等による施策の費用対効果について。 ③上記から今後取りうべき施策について。
		3. 都市政策について	(1) 都市政策について	①生活基盤(社会インフラ)の維持・補修費等の予算の推移について。 ②移住家族支援・まちなか居住支援事業の実績とその結果から検証すべき点について。 ③空き家・空き地活用バンクの実績(改修費・撤去補助)について。 ④住宅リフォーム助成事業の実績と次年度以降の方針について。
11	柳川 隆 (一問一答方式)	1. 生活環境について	(1) 悪臭のこと	①隣接する弥彦・岩室地区内にある養豚団地から発生したと思われる悪臭が、風向きによって吉田神田町、吉田東町においても体感出来、その場に私も居合わせた。そのことについて当局は地元から何か聞いているか伺う。 ②弥彦の行政機関に、吉田地区の弥彦に近い住民から、悪臭について苦情が行っているのは把握しているか伺う。 ③地元住民から悪臭の苦情が寄せられていない日常において、当局は発生源のある自治体とはどのような連絡、協議などを重ねているのか、また、いないのか伺う。
		2. 学校教育について	(1) いじめのこと	①10月18日付けの新潟日報の記事によれば、文科省の担当者は、認知件数が大幅に増えた要因について「いじめを広く定義した13年施行のいじめ防止対策推進法を踏まえ、積極的な認知を求めてきたことが大きい」とあるが、いじめを広く定義、についてその内容と以前の推進法との違いについて伺う。 ②いただいた資料によると、平成27年度のいじめの認知件数は市内小・中学校合わせて31件、ところが、今年度は8月末現在で71件、年度末まで7カ月を残してこの件数なら、年度末には100件を超えると推測される。どのような手順で認知し、加害者にはどのように対処するのか伺う。 ③いじめ防止対策推進法が規定する「重大事態」につながる芽を早目に摘むことが改正の趣旨のようだが、その効果について伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
11	柳川 隆 (一問一答方式)	2. 学校教育について	(2) 中学校の体育祭のこと	<p>① 9月7日、市内5校の中学校で一斉に体育祭が行なわれた。その際、体調不良で計34名の生徒が保健室に担ぎ込まれた。その主な原因は何か伺う。</p> <p>② 5校の生徒の総数は1,937名であり、34名では全体の1.76%を占める。ざっくり言って2,000名で40名になるかという人数である。この人数についてどう思われるか伺う。</p> <p>③ 9月上旬は真夏といってもよい時期であり、その暑さ対策も考慮されてしかるべきだと思うが、今後どのような対策を講じるのか伺う。</p> <p>④ いじめの認定の定義を広めたことによって、多くが認定されるようになったが、そのことと、体育祭で保健室に運び込まれる生徒の人数の多さは底流で一部つながっているように思えるが、当局の見解を伺う。</p>
12	岡山 秀義 (一問一答方式)	1. 教育環境の整備について	(1) 置き勉について	<p>① 小中学生が通学するときのランドセルや、通学カバンの重さを懸念する声が出る中、昨年9月6日文科部科学省から全国の教育委員会に児童生徒の携行品に係る配慮について通知されました。</p> <p>当市におきましても各小中学校に児童生徒の成長や家庭学習へのつながりを考え、その日の家庭学習で使用しない教科書や資料集等を学校にとめ置く「置き勉」の措置をしているが、現状を伺います。</p> <p>② 「置き勉」の措置より1年が経ち、各小中学校で工夫をしながら行ってきた中で、教員や保護者から「学校によって違う」「変わってない」など多くの声をお聞きます。今後、教育委員会としてどのように対応していくのか伺います。</p>
		2. 安心安全な防災まちづくりについて	(1) 台風19号に伴う被害について	<p>① 本年10月、台風19号の豪雨は全国で大きな被害を及ぼしました。当市におきましても多くの被害に見舞われ、各地域に避難所が開設されました。また、信濃川中流の水位が氾濫危険水位を超えたため、分水小学校区・分水北小学校区に避難勧告が発令され、大勢の市民が避難所に避難されましたが、市民等の自主的な避難、及び高齢者等避難が円滑に行われたのか伺います。</p> <p>② 避難勧告(警戒レベル4)全員避難が発令された分水小学校区・分水北小学校区において、「避難しても避難所が低く氾濫・決壊したら逃げられない」と高齢者や障がい者の方々の声があります。避難所として機能しているのか伺います。</p> <p>③ 災害時に、いのちを守るために大切なことは、普段の生活から防災意識を高めておくことです。燕市全戸に配布されている「洪水・土砂災害ハザードマップ」をどのように周知徹底していくのか伺います。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
12	岡山秀義 (一問一答方式)	3. 地域再生計画について	(1) 「武道のまち燕市」について	<p>① つばめ東京オリンピック・パラリンピックプロジェクトをフラッグシップに進められてきた、2020年東京オリンピックに向けた「武道のまち燕市」隘路打開プロジェクトの現状について伺います。</p> <p>② スポーツ活動人口及び市外から訪れる交流人口の増加、さらには地域経済の活性化を目指し、全国規模の大会の受け入れや、一流アスリートの招聘を図ってきたが、成果と今後の取り組みについて伺います。</p>
13	タナカ・キン (一問一答方式)	1. 須頃郷第1号公園の利活用について	(1) 須頃郷第1号公園の現状について	<p>燕三条駅のすぐ脇にある須頃郷1号公園は、広大な敷地面積を擁しているが、現状は草が生い茂っている状態である。</p> <p>① 管理について伺う。</p> <p>② 面積について伺う。</p> <p>③ 災害時の避難場所に指定されていないのか伺う。</p> <p>④ 公園内にはモニュメントも設置されているが、この公園は何年経過しているか伺う。</p>
		2. 国際交流事業について	(1) ダンディ村・シュボイガン市・ジャック&ベティプロジェクト海外派遣事業について	<p>私は昨年の改選後、総務文教常任委員となりましたので、事業の報告会に出席しました。そこで感じたのが、事業の内容を比較すると、伝わってくるのがまるで違うということでした。</p> <p>① それぞれの事業の現状について、目的や成果を伺います。</p> <p>② 派遣される児童・生徒の選考方法を伺います。</p> <p>③ 経費(自己負担)について伺います。</p>
			(2) 事業の見直しについて	① この事業だけでなく、全ての継続事業は見直されていく必要があると思う。国際交流事業も当然、再検討すべきと考えるが伺います。
		3. 児童のスマホについて	(1) 児童のスマホについて	<p>大阪市で行方不明になっていた小学6年の女子児童が、栃木県小山市の民家から逃げ出し保護された事件は、スマホを持っていなければ発生しない事件である。</p> <p>総務省が毎年発表している「青少年のインターネット利用環境実態調査」の結果によれば、小学生のスマホ所有率は2018年時点で約46%まで増加しているという。</p> <p>① 燕市の小中学生のスマホ所有率について調査は行っているか。</p> <p>② スマホの長時間使用により学力が低下しているというような話も聞くが、スマホ使用に対する指導は行っているか伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
14	宮路敏裕 (一問一答方式)	1. 市民の暮らしと地域経済について	(1)消費税10%増税の影響について	①政府による消費の落ち込みを抑える対策とした、消費者へポイント還元するキャッシュレス・消費者還元事業について、小売店など対象事業者へのPRや、決済端末機器の導入サポートなどの状況について伺う。 ②プレミアム付商品券の取り組み状況について伺う。 ③複数税率の導入によって、事業者には区分経理の対応など事務負担が増える問題、2023年10月からのインボイス制度以降による問題点について、どのように受け止めているか認識を伺う。
		2. 介護保険事業について	(1)介護予防・日常生活支援総合事業について	①介護予防・日常生活支援総合事業による現行相当サービス、基準緩和サービスA、住民主体サービスBについて、それぞれ利用状況をどう評価しているのか、計画と実績に鑑み認識を伺う。 ②実施事業所にとって人員確保や、事業報酬の面など問題点や課題はあるのか認識を伺う。 ③政府は現在「全世代型社会保障検討会議」を立ち上げ、介護保険サービスの給付削減を検討している。その中で、要介護1、2の生活援助サービスを①で取り上げた「総合事業」に移行させるという検討項目があり、来年中には法案提出というスケジュールまで、取りざたされている。仮に実施となれば、サービス対象者の人数や実施事業所の確保など大きな影響があるのではないか認識を伺う。
15	大岩勉 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1)新潟県地域医療構想調整会議の会議内容を伺う	①厳しい県財政を背景に、外部有職者会議で「県央基幹病院は即刻見直すべき」との指摘について、どのような検証作業が行われているのか伺う。 ②県立吉田病院は近隣の民間病院と機能が重複することから、県立が必要か民間移譲も含めた検証も選択技の一つと指摘もされたと聞くが、見直しはあるのか伺う。 ③県央基幹病院の早期開設に向け、燕市長として最大限の努力行動し、燕市民が安堵する情報提供をすべきでないか伺う。
		(2)116号バイパス事業化に向け自民党本部・首相官邸を訪問された心意を伺う	①116号バイパス構想は、コンクリートより人へと当時3年半政権を取った政党により中止になった事業です。令和元年6月には地元2区自民党代議士による努力もあり、国から県に対して計画決定要望書手交式がされ、現在、県と燕市が連携し都市計画の手続きを進めている段階まで進捗しているのではないかと伺う。 ②鷲尾英一郎代議士の案内と報道されているが、116号バイパス構想を中止させた政党の元新潟県の代表人物との陳情要請は「風見鶏」の様にみえ、そのような行動は燕市長としていかがなものか心意を伺う。	

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
15	大岩勉 (一問一答方式)	2. 水道の塔の外壁落下による安全対策整備について	(1) 水道の塔の外壁落下による安全対策整備について	<p>①燕市のシンボルとして2011年度に7,500万円をかけて改修をしましたが、翌年の2012年に早くも外壁が落下するなどし、さらに、今年の1月には駐車場に停車していた市職員の車上に外壁が落下しフロントガラスが破損する事故が発生しました。損害賠償はされたのか伺います。</p> <p>②2012年7月の外壁落下その後も、さらに落下やひび割れが相次ぐと報道されており、燕市はその都度補修するなどの対応をされたとあるが、2011年改修後のトラブルは確認されているだけで何件あり、それに費やした費用の合計はどのくらいなのか伺う。</p> <p>③2011年改修から翌年の2012年7月に早くも外壁が落下ということは、改修補強された工事会社の「瑕疵担保」責任に値すると思われるが、施工業者によるアフターフォローはされたのか、業者名の確認、さらに当時議会には報告がされたのか伺う。</p>
		3. 小中学生の教育問題について	(1) スマートフォン利用による小中学生教育について	<p>①スマートフォンのSNS利用による小中学生が、事故や事件に巻き込まれる事件が全国的に増加、勃発しているが、燕市内では小中学生の何%がスマートフォンを持っているのか、学校に持参許可されている現状を伺う。</p> <p>②スマートフォン利用による会員制交流サイトSNSの利用について、教育委員会や学校側ではどのような注意指導をされているのか伺う。</p>
			(2) 学校体育館開放の使用料改定について	<p>①学校体育館開放の使用料改定に関する説明会が開催されたが、利用者からはどのような意見や要望があったのか伺う。</p> <p>②県内20市のうち、学校体育館の使用料を設定していないのは、燕市を含む4市とあるが他市はどこなのか伺う。</p>
			(3) 小中川コミュニティグラウンドについて	①ナイター照明は撤去されるのか、少年野球チームが長年にわたって利用しているグラウンドの今後の活用はどうされるのか伺う。
16	中山眞二 (一問一答方式)	1. 公共施設について	(1) ビジョンよしだについて	<p>①改築もしくは設備更新が検討されていると聞くが、どのような状況か。</p> <p>②その場合の財源をどのように考えているか。</p> <p>③現在の利用状況はどのようになっているか。</p> <p>④料金設定と収支状況はどうか。</p> <p>⑤民でも同じような施設はあるが、指定管理してまで市でやる意義は、またさまざまな面で優遇されているが、民と競合してまでやることの意義はどこにあるのか。</p> <p>⑥指定管理されてから、ビジョンよしだはどう変わったか。</p> <p>⑦今後、ビジョンよしだをどのように運営していくのか、新たな展望を持っていければ伺いたい。</p>

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質 問 項 目 (大項目)	質 問 要 旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
16	中山 真二 (一問一答 方式)	1. 公共施設 について	(2) 指定管理者制 度について	①指定管理者制度になってから、管理形態が固定化しているように見受けられるが、時代の変化に応じて運営面管理面での革新が必要と思うが、何か対策を講じているのか伺う。 ②指定管理者からの提案はあるのか、それを協議する場はあるのか伺う。
		2. 教育に ついて	(1) 子どもたちの 健康について	①燕南小学校で行われていた眠育の状況と効果、その広がりはどのようになっているか。 ②最近増えている近視の状況と、それを防ぐ対策(運動)はしているのか。 ③一日一回誰かを褒める条例を作った町があるが、そんなことを子どもたちに広めたらいじめもなくなると思うのだが見解を伺う。